

や運営委員会と連携し、衛生管理体制の充実に努めます。

昨今の児童生徒を取り巻く環境は、自然災害はもとより、校舎内外を問わず悲惨な事件事故が多発し、安全・安心な状況が脅威にさらされています。学校と地域が一体となった安全確保、児童生徒、教職員の安全教育、危機管理に万全を期す所存です。

児童生徒の安全確保と快適な教育環境の保全是、当教育委員会の最重要項目であります。学校施設の維持補修管理・耐震化や教職員住宅の改修など財政負担の課題と緊急性を勘案し、学校運営や生活に支障のないように配慮するとともに、効率的予算運用を図り計画的に取り組んでまいります。本年度は、昨年亀裂が生じた問寒別小中学校の浄化槽の改修を予定しています。教職員住宅につ

いては、本年度幌延地区1棟の水洗化を予定していますが、今後の児童生徒数の推移と教職員の動向を視野に、効率的整備に努めてまいります。



幌延中学校 体育大会

第二に、社会教育の施策について申し上げます。

町民が生きがいをもつて、いきいきと暮らすには、だれもが自由に学び、その成果を生かすことができる生涯学習社会の実現が求められています。それには、町民一人一人

の生涯学習に対する理解と参加、各種団体、サークルなど関係組織の積極的な取り組みが基本となり、学習機会の充実、各種情報の提供など環境整備が重要になってまいります。

生涯学習社会の実現に向けて各領域にわたっての整備、促進を総合的に進めることを目的とした「第4次社会教育中期計画」を平成15年度に策定し、事業評価をもとに毎年その環境づくりを推進してきているところであります。

今日の生涯学習社会に対応するためには、人材育成と専門的資質向上が求められています。このため本年度は、社会教育主事養成のための研修に職員を派遣し専門性を高めて行きます。

地域の人的資源を活用し、青少年の健全育成事業につなげている「人材バンク」登録は引き続き

推進し呼びかけをしながら、その活用を積極的に図ります。

子どもの豊かな心を育み、生きる力を育てるためには、体験活動の充実が不可欠であります。地域の子どもの支援に、多くのボランティアのご協力をいただきながら運営している「子ども会育成連絡協議会」と「ワラベンチャー問寒クラブ」への支援を継続いたします。

「ふるさと自然体験チャレンジ教室」では、「ほろのべ」の澄んだ川、風雪を意識させ、成長期の子どもたちの心に「ふるさと」をしっかりと根付かせる取り組みを実施して行きます。

家庭教育の充実と子育ての環境づくりの推進を図るため、豊かな自然や社会的地域資源を効率的に活用し、留萌教育局や関係機関、町民皆さんのご協力をいただきながら、家庭教育支援総合推進事

業や地域子ども教室推進事業等の助成制度を利用し、子育て支援や子どもの居場所づくりを進めます。

まちづくりの主体としての役割を期待される青年については、個々の取り組みや団体活動を尊重しながら情報提供を進め、各種リーダー養成研修、講習会への参加を呼びかけ支援します。

今、地域社会や家庭教育力の回復が求められています。家庭、学校、地域の連携を深め、共に支えあえる学びの場とし



ふるさと自然体験チャレンジ教室・バードウォッチング